

平成29年度事業計画

各施設の事業計画は別紙のとおりですが、業務にあたっての基本方針は次のとおりです。

1. 既存事業の安定的継続

利用者の人格を尊重した支援

利用者の地域での安心・安全な生活への支援

安定的な経営の継続

- ・利用者（短期利用を含む）の新規受け入れ等による収入増
- ・助成制度の活用による収入の確保
- ・経費節約による支出の削減

施設維持費の計画的執行

2. 今後の取り組み

障害者総合支援法等の国の新たな動向等を踏まえ、法人としての課題や取り組みの方向性を検討する。

職員確保の為、通勤しやすい場所、働きやすい職場環境・雇用形態、仕事の細分化を検討する。

いづみ会における地域貢献の形を検討する。

3. 職員研修の充実

職員の資質向上・知識習得のため、社会福祉協議会等で実施する研修会への参加を充実させる。また、階層別研修（一般職のみ参加、主任のみ参加、係長のみ参加等）を重視するため、人員配置が難しくなり法人全体での研修は控え外部研修を利用する。

また、今年度初の取り組みとして、東洋大学の講師を西山荘に招く、施設内外研修を行う。

平成29年度法人本部事業計画

第1部 総括

1. 事業展開

- (1) 今年度は予定していない。

第2部 事業活動について

2. 監事監査（人件費支出）

- (1) 平成29年5月15日（月） 10:00～
監事監査（平成28年度事業報告、決算報告等）

2. 理事会（人件費支出）

- (1) 平成29年5月1日（月） 10:00～
臨時理事会（社会福祉充実計画が必要な場合のみ開催。）
- (2) 平成29年5月29日（月） 10:00～
理事会（平成28年度事業報告、決算報告等）
- (3) 平成29年9月25日（月） 評議員会・理事会
理事会（理事長専決の報告等）
- (4) 平成30年3月18日（月） 10:00～
理事会（平成30年度補正予算、平成31年度事業計画、予算等）
この他、必要に応じ開催する。

2. 評議員会（人件費支出）

- (1) 平成29年6月19日（月） 10:00～
評議員会（平成28年度事業報告、決算報告等）
この他、必要に応じ開催する。

3. 第三者委員連絡会（人件費支出）

- 平成29年11月13日（月） 法人・施設の運営状況の報告 施設視察（未定）

4. 法人内職員合同研修会（研修研究費支出）

- (1) 本年度は、東洋大学に7月に施設内外部研修を依頼する予定です。

5. 事務局の運営（通信運搬費支出）

- (1) 西山荘事務室(兼用)と教育会館事務室の維持管理。
- (2) ホームページとメールアドレス管理。

6. 運営連絡会議(会議費支出、賃借料支出(事務))
 毎月1回、法人施設間の連絡調整
 (構成員:理事長、施設長、課長、事務局長)

第3部 施設整備等について

7. 今年度は予定していません。

第4部 その他の活動について

8. 法人本部繰入金について(拠点区分間繰入金収入)
 規程通りの850万円の収入を予定しています。
9. 相談支援事業負担(拠点区分間繰入金支出)
 800万円の支出を予定しています。

社会福祉法人いずみ会施設一覧表

平成29年4月1日予定

事業種別	施設名	サービス内容	定員
障害者支援施設	西山荘	生活介護	60名
		施設入所支援	57名
		短期入所	2名+空床
障害福祉サービス事業所	ケアホームいずみ	共同生活援助	29名
	千樹の里	多機能型 (生活介護+就労 継続支援B型)	生活介護15名 就労継続支援B型20 名
		オードリー	多機能型 (生活介護+就労 継続支援B型)
相談支援	りあん相談支援センター	指定特定相談支援 事業	

平成29年度西山荘事業計画

第1部 総括

1. 運営方針

利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立った公正で適切な支援を行うと共に、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進します。

適度な運動を取り入れ、高齢化による体力等の低下を防止し、出来る限り居宅に近い環境の中で、潤いある生活と清潔で快適な居住環境を提供し、地域や家庭との結び付きを尊重した支援を行います。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成29年3月1日 現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
生活介護	60	58	人員配置加算(1.7:1)
短期入所	2	2	
施設入所支援	57	55	

（2）利用者の予定数（平成29年度）

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考（加算等）
生活介護	57	60	60	
短期入所	2	2	2	
施設入所支援	53	56	56	

3. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の配置数（平成29年3月1日 現在）

事業の種類	配置	現員
生活介護	1.7:1	常勤22名、非常勤20名
短期入所	1.7:1	常勤1名、非常勤4名
施設入所支援		生活介護に含む
その他		常勤8名、非常勤5名

(2) 職員配置の予定数(平成29年度)

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考(加算等)
生活介護	1.7:1	1.7:1	1.7:1	
短期入所	1.7:1	1.7:1	1.7:1	
施設入所支援				生活介護に含む

4. 事業内容(全体の支出、教育指導費、日用品費)

(1) 生活介護

班活動を中心に、情緒障害やてんかん発作、自閉症、高齢の方等、個々の利用者のペースに合った下記の3つの活動を実施します。

・レクリエーション班

機能訓練(レクリエーション、介護予防体操、散歩、足浴)に関する支援の提供。牛乳パック椅子の製作・販売。利用者個々の特性に応じた裁縫・塗りえ等の提供をします。

・リサイクル班

近隣企業やコンビニの協力を得て、空き缶つぶし、ペットボトルのラベル剥がし等のリサイクル作業。太田ステージを用いて発達障害段階を分析し、個々の発達に応じた作業工程を提供します。

・園芸班

季節の野菜や花の栽培を行い、無人販売所や地域行事で販売をします。

グラウンド整備等を行い、利用者の情緒安定を図りながら個々の特性に応じた個別活動を提供します。

(2) 短期入所(ショートステイ)

障がいのある方が居宅において、その介護者の疾病その他の理由により一時的な保護が必要な際に短期間の入所を提供します。

(3) 施設入所支援

潤いのある生活が送れるよう、集団生活の中でも最大限個々のニーズを尊重し支援を提供します。一人ひとりの強みを活かし、安心・安全な住環境と清潔で快適な生活が送れるように支援をします。

5. 食事(給食費支出)

年1回嗜好調査を実施し、利用者の希望を献立に組み入れ、喜ばれる食事を提供します。利用者の誕生日には、希望のメニューを提供します。

6. 保健・健康管理(保健衛生費支出)

バイタルチェック	毎日
健康相談、外耳道清掃、体重測定	毎月
胸部レントゲン、インフルエンザ予防接種	年1回
内科検診	年2回

7. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

外出を計画し、利用者の希望や状況に応じて、買い物やレクリエーション等を実施します。

旅行は日帰り旅行を年2回実施し、利用者の健康面や適応性を考慮し、無理のないグループ編成及び旅行計画を策定します。

その他、年中行事、各班での外出、音楽講師による音楽クラブ(毎週)、散歩、カラオケ等を取り入れて実施します。

平成29年度 行事予定表

(金額単位：円)

月	行事	予算	月	行事	予算
4	花見外出	0	10	秋祭り	80,000
5	交流会	0	11	法人交流会	40,000
	春のレク	60,000	12	クリスマス会	20,000
6	日帰り旅行	96,000	1	新年会	12,000
7	七夕祭り	12,000	2	節分	12,000
8	夏祭り	12,000	3	ひな祭り	12,000
9	日帰り旅行	96,000			
	お月見会	12,000			

8. 衛生・環境（全体の支出）

入浴は週3回実施します(男性～月・水・金/女性～火・木・土)。また、希望者及び利用者の状況によって、シャワー浴や清拭を行います。

シーツは週1回交換し、洗濯は業者に委託します。棟内は全面禁煙とします。

9. 安全指導（全体の支出）

・【避難訓練】毎月実施すると共に、その内2回は消防署立会いの下で避難訓練・職員の消火訓練・通報訓練を実施します。

・【交通安全教育】年1回西入間警察署より担当者を派遣して頂き実施します。

10. 地域とのかかわり（全体の支出）

町社協のふれあい広場や亀井小学校の行事等、地域の行事に積極的に参加します。また、ボランティアや慰問等を積極的に受け入れ、障がいや施設に対する理解を深めると共に、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。災害発生時には、鳩山町との災害時相互援助協定に基づき、町当局や地域住民と協調して不時の災害に対処します。

11. 面会・帰宅・保護者会（全体の支出）

面会日は毎月第三日曜日とします。保護者会は4月、8月に行ないます。
5月・10月は、保護者会主催のレクリエーションを行います。

第3部 施設整備等について

12. 施設整備について

(1) 防犯対策整備工事

収入：県費補助2,153,000円、自己負担

支出：2,870,856円

第4部 その他の活動について

13. 法人本部繰入金について

656万

14. 修繕積立金について

1000万円

平成29年度ケアホームいずみ事業計画

第1部 総括

1. 運営方針

ケアホームいずみでは、家庭的で温かみのあるホームの運営をしていきます。その中で利用者の能力に応じた支援を行い、自立した日常生活を送れるよう支援をしていきます。

2. 新規グループホームについて

場所：ときがわ町大字玉川1322-2

定員：5名

開所予定：平成29年4月1日

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成29年3月1日 現在）

ホーム名	定員	現員	備考（加算等）
なか街	3	3	夜間世話人1名配置
リヴェール	7	7	夜間世話人1名配置
エアージュ	9	8	夜間世話人1名配置
新宿町ホーム	5	4	夜間世話人1名配置
合計	24	22	

（2）利用者の予定数（平成29年度）

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考（加算等）
なか街	3	3	3	夜間世話人1名配置
リヴェール	7	7	7	夜間世話人1名配置
エアージュ	8	9	9	夜間世話人1名配置
新宿ホーム	4	5	5	夜間世話人1名配置
グローブ	4	5	5	夜間世話人1名配置
合計	26	29	29	

3. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の配置数（平成29年3月1日 現在）

事業の種類	配置	現員
なか街	4 : 1	24名
リヴェール	4 : 1	
エアージュ	4 : 1	
新宿町ホーム	4 : 1	
合計		24名

(2) 職員配置の予定数(平成29年度)

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考(加算等)
なか街	5 : 1	5 : 1	5 : 1	
リヴェール	5 : 1	5 : 1	5 : 1	
エアージュ	5 : 1	5 : 1	5 : 1	
新宿町ホーム	5 : 1	5 : 1	5 : 1	
合計	30名	33名	33名	

4. 事業内容(全体の支出、教育指導費、日用品費、就労支援～支出、就労支援事業収入)

(1) 共同生活援助について

重度者に対応を出来るように、生活支援員を配置して身辺面での確立を図っていきます。

食事作り、買物、掃除・洗濯等のIADL(日常生活関連動作)機能の維持・向上の支援を行います。

(2) 日中活動について

平日の日中活動においては、いずみ会施設(西山荘・千樹の里・オードリー)、他法人東松山市内通所施設へ通勤・通所をします。

休日は、個々の生活が楽しめるように買物、催事見学、外食等を取り入れ、更に、市町村事業である生活サポート事業等を取り入れ、より豊かな生活を送れるように支援します。

その他、四季折々の年中行事等を各ホームで行います。

5. 食事(給食費支出)

利用者の希望を献立に組み入れ、喜ばれる食事を提供します。利用者の誕生日には、希望のメニューを提供します。

6. 保健・健康管理(保健衛生費支出)

健康管理	検温・血圧測定は朝夜実施。体重測定は毎月実施。医療機関通院の支援。
------	-----------------------------------

胸部レントゲン	年1回（費用は実費）
インフルエンザ	年1回（費用は実費）

7. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

利用者にとって楽しみと思えるような支援を心掛け、毎日の日課が単調なものにならないよう下記予定表どおりの行事を実施してまいります。

平成29年度 行事予定表

月	行事	月	行事
4	花見	10	外出
5	外出	11	外出
6	外出	12	忘年会
7	夏祭り	1	新年会
8	花火	2	節分
9	一泊旅行 (通所事業所と合同)	3	ひな祭り

予定表とは別に、土日等には外出・外食などの余暇を随時提供します。

8. 衛生・環境（全体の支出）

入浴は週3回実施します（火・木・土）。

また、希望者によっては、毎日シャワー浴を提供します。

棟内は全面禁煙とします。

9. 安全指導（全体の支出）

- ・【避難訓練】～年2回は消防署立会いの下で避難訓練・職員の消火訓練・通報訓練を実施します。その他、定期的を実施します。

10. 地域とのかかわり（全体の支出）

地域での活動、連携及び協力を行う等、地域との交流を行い障害や施設に対する理解を深め、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。努めます。

また、地域内でのグループホーム会議等に参加し、親睦や情報の収集などを行い、利用者にとって、住みよい暮らしが提供できるように努めます。

災害発生時には、東松山市との災害時相互援助協定に基づき、町当局や地域住民と協調して不時の災害に対処します。

11. 面会・帰宅・保護者会

面会・帰宅は利用者・ご家族のご希望に合わせて行います。

第3部 その他の活動について

- 13．法人本部繰入金について
規程通り行う。
- 14．修繕積立金について
規程通り行う。

平成29年度千樹の里事業計画

第1部 総括

1. 運営方針

利用者個々の能力や適性に応じた支援を心掛け、自立した日常活動を営むことの一助となるような支援をまいります。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成29年3月1日 現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
生活介護	15	12	平均区分5以上
就労継続支援B型	20	20	
合計	35	32	

（2）利用者の予定数（平成29年度）

事業の種類	4/1	10/1	3/31	備考（加算等）
生活介護	13	13	13	平均区分5以上
就労継続支援B型	20	20	20	
合計	33	33	33	

3. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の配置数（平成29年3月1日 現在）

事業の種類	配置	現員
生活介護	2:1 *1	4.6
就労継続支援B型	7.5:1 +1 *2	3.8
合計		8.4

*1 人員配置加算を取っているため2:1の職員配置。

*2 目標工賃達成指導員配置加算ありのため、7.5:1の配置の他に常勤換算で1以上が必要。

(2) 職員配置の予定数(平成29年度)

事業の種類	4/1	10/1	3/31	備考(加算等)
生活介護	5.0	5.0	5.0	平均区分5以上
就労継続支援B型	4.0	4.0	4.0	目標工賃達成指導員配置
合計	9.0	9.0	9.0	

4. 事業内容(全体の支出、教育指導費、日用品費、就労支援～支出、就労支援事業収入)

(1) 生活介護

利用者同士の連帯感、共助性を助長させられるような支援を心掛け、挨拶や規律性を通じて人間関係を維持、向上できるような支援を行なってまいります。また、自閉症、発作等ある方については家庭と連携し安定を心掛けた支援をしてまいります。

健康面については、引き続き、毎月1回の医師来園による診察、及び毎週1回の看護師による健康チェックを行なってまいります。

日中活動は、本人の能力に応じて負担とならない範囲で行ない、ゴム製品のバリ取り作業やアルミ缶のリサイクル作業を引き続き行ってまいります。

また、運動不足の解消や身体機能の維持向上を行うため、天候の良い日は町内や西山荘のグラウンドを利用し散歩を行い、それ以外の日には体操等で体を動かす機会を提供するとともに、引き続き月に2回、町の体育館を借用し、こちらも負担にならない程度の運動を行ってまいります。

(2) 就労継続支援B型

作業を通じて連帯感や協調性を養い、また、楽しさを体感しその結果、収入を得る喜びを味わっていただき、充実した日々を送れる一助になるような支援を行ってまいります。

受託作業

利用者のある程度の工賃確保を見込めるのは受託作業に負うところが多く、その自覚をもって受注に応えてまいります。

従来どおり贈答用の箱の組み立てや芳香剤の箱の組み立て作業を中心に、昨年度途中から受注した水道管の防音材を巻く作業など、年間を通して継続的に安定した受注の見込める作業を提供してまいります。その際、正確な製品、納期厳守を徹底し、受注量の確保や向上に努め、工賃確保や向上につなげてまいります。

施設外実習

手すき和紙たにの様より和紙の原料となる楮の皮むき作業を受注しており、そのステップアップとして施設外実習につなげられるよう、努めてまいります。

5. 食事（給食費支出）

提供できるサービスは仕出し弁当です。

6. 保健・健康管理（保健衛生費支出）

健康管理	生活介護：検温は毎朝実施、必要な方は血圧測定。 全員対象：体重測定は毎月実施。
胸部レントゲン	年1回（費用は実費）
インフルエンザ 予防接種	年1回（費用は実費）

7. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

利用者にとって作業が楽しみと思えるような支援を心掛けるが、毎日の日課が作業のみという単調なものにならないよう下記予定表どおりの行事を実施してまいります。利用者の特性に応じ計画し、外出する機会を通じて社会性の向上を図り、生活意欲が出るような各種行事を実施してまいります。

平成29年度 行事予定表

(金額単位：円)

月	行事	予算	月	行事	予算
4	お花見	5,000	10	ハイキング	5,000
5	工場見学	5,000	11	交流会	30,000
6	クッキング	5,000	12	忘年会	10,000
7	七夕祭り	5,000	1	新年会	10,000
8	おやつ外出	10,000	2	節分	5,000
9	一泊旅行	400,000	3	クッキング	5,000

8. 衛生・環境（全体の支出）

利用者の状況によって、シャワー浴や着替えを適宜行います。
棟内は全面禁煙とします。

9. 安全指導（全体の支出）

・【避難訓練】～年2回実施する。消防署立会いの下で避難訓練・職員の消火訓練・通報訓練を実施します。

・【交通安全教育】～年1回小川警察署より担当者を派遣してもらい実施します。

10. 地域とのかかわり（全体の支出）

地域の福祉イベントや特別支援学校の行事等、地域の行事に積極的に参加します。また、ボランティアや慰問等を積極的に受け入れ、障害や施設に対する理解を深めると共に、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。

災害発生時には、町当局や地域住民と協調して不時の災害に対処します。

1 1 . 面談（**全体の支出**）

支援の参考にするため、利用者及びご家族と年1回面談を行います。

第3部 施設整備等について

1 2 . 修繕について

（1）利用者玄関に庇を取り付ける補修工事を行う。

第4部 その他の活動について

1 3 . 法人本部繰入金について

規定通り行う。

1 4 . 修繕積立金について

規程通り行う。

平成29年度りあん相談支援センター事業計画

第1部 総括

1. 運営方針

障害者総合支援法の目的である、利用者個々の有する能力及び適性に応じた、自立した生活を営むことができるよう支援すると共に、地域交流、社会参加の促進を図る事ができるようサービスの提供を行います。

イ、利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを心掛けます。

ロ、自ら提供する相談支援の評価を行い、改善を心掛けます。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成28年4月1日～平成29年2月28日の積算）

事業の種類	職員	1年の積算	備考（加算等）
モニタリング	専任1、兼任1	73件	
計画作成	事務1	73件	
その他の相談			

（2）利用者の予定数（平成29年度の積算）

事業の種類	4/30	9/30	3/31	備考（加算等）
モニタリング	4件	27件	54件	
計画作成	0件	14件	29件	
その他の相談				

上記以外で東松山市より在宅の計画相談を受付予定。

3. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の配置数（平成29年3月1日 現在）

種類	4/1	10/1	3/1	備考（加算等）
専任	1	1	1	
兼任	1	1	1	

(2) 職員配置の予定数(平成29年度)

種類	4/1	10/1	3/1	備考(加算等)
専任	1	1	1	
兼任	1	1	1	

4. 事業内容(全体の支出)

(1) 指定特定相談支援事業

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを利用する利用者もしくは保護者に対し、契約を結び、適正なサービス(『サービス等利用計画』『モニタリング』作成等)を提供します。

- イ、利用者の課題・ニーズを把握する為、アセスメントを行います。
- ロ、「サービス等利用計画」を作成します。
- ハ、「サービス計画」実施状況の把握を行い、必要に応じて「継続サービス利用支援(モニタリング)」を行います。また、必要に応じサービス等調整会議を開催します。
- ニ、生活全般の相談・情報提供・連絡調整を行います。
 - ・電話相談...専用電話を設置しサービス提供時間に随時行います。
 - ・面接相談...サービス提供時間に随時行います。(原則予約)
 - ・訪問相談...必要に応じ、利用者宅や関係機関への訪問を行い、支援の充実に図ります。

ホ、営業日時

- (1)営業日 週5日(月・火・水・木・金)
- (2)営業時間 午前8時30分から午後5時30分
- (3)休日 土、日、祝祭日、年末年始

第3部 施設整備等について

なし

第4部 その他の活動について

6. 法人本部繰入金について

りあんについては、行わない。

7. 修繕積立金について

りあんについては、行わない。

平成29年度オーダー事業計画

第1部 総括

1. 運営方針

利用者個々の能力や適性に応じた支援を心掛け、自立した日常活動を営むことの一助となるような支援をまいります。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成29年3月1日現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
生活介護	13	14	
就労継続支援B型	28	11	
合計	41	26	

（2）利用者の予定数（平成29年度）

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考（加算等）
生活介護	14	14	14	年平均 13人
就労継続支援B型	12	16	20	年平均 16人
合計	27	31	35	

3. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の配置数（平成29年3月1日現在）

事業の種類	配置
生活介護	5 : 1
就労継続支援B型	7.5 : 1
合計	

（2）職員配置の予定数（平成29年度）

事業の種類	4/1	10/1	3/1	備考（加算等）
生活介護	2.4	2.4	2.4	
就労継続支援B型	2.3	2.3	2.6	

合計	4.7	4.7	4.7	
----	-----	-----	-----	--

4. 事業内容（全体の支出、消耗器具備品費支出、教養娯楽費支出）

（1）生活介護

地域、ご家庭のニーズに応えるため入浴サービスを実施いたします

利用者同士の連帯感、共助性を助長させられるような支援を心掛け、挨拶や規律性を通じて人間関係を維持、向上できるような支援を行なってまいります。また、自閉症、発作等ある方についてはご家庭やその他関係機関と連携し安定を心掛けた支援をしてまいります。

健康面については、引き続き毎日の健康チェックを行なってまいります。また、緊急時には施設側で通院の手配ができるように、日ごろから家庭や各グループホームとの連絡を密にまいります

日中活動は、本人の希望を踏まえながら、能力に応じた作業を負担にならない範囲で行ないます。また、作業の中に体を動かす機会を用意し、運動不足の解消を行ってまいります。

（2）就労継続支援B型（就労支援支出、就労支援事業収入）

作業を通じて連帯感や協調性を養い、また、楽しさを体感しその結果、収入を得る喜びを味わっていただき、充実した日々を送れる一助になるような支援を行ってまいります。

受託作業

ある程度の工賃確保を見込めるのは受託作業に負うところが多く、その自覚をもって受注に応えてまいります。

内職作業を中心とし、利用者、地域のニーズを踏まえながら作業内容、作業量を調整し取り組んでいきます。

しかし、まだ景気が回復したとはいえ、受注量は流動的なため、正確な製品、納期厳守を徹底し、受注確保に努め安定した工賃確保につなげてまいります。

5. 食事

提供できるサービスは仕出し弁当です。

6. 保健・健康管理（保健衛生費支出）

健康管理	検温・血圧測定は毎朝実施。体重測定は毎月実施。 医療機関通院の支援。
胸部レントゲン	年1回（費用は実費）
インフルエンザ	年1回（費用は実費）

7. 行事、余暇活動（**教養娯楽費支出、旅費交通費支出**）

利用者にとって通所が楽しみと思えるような支援を心掛けますが、毎日の日課が作業のみという単調なものにならないよう下記の通り行事を実施してまいります。利用者の特性を踏まえ計画し、外出する機会を通じて社会性の向上を図り、生活意欲が出るような各種行事を実施してまいります。

平成29年度行事予定

月	行事	予算	月	行事	予算
4	お花見	0円	10	レク外出	10,000円
5	レク外出	10,000円	11	レク外出	10,000円
6	レク外出	10,000円	12	クリスマス会	0円
7	七夕	0円	1	初詣	0円
8	レク外出	10,000円	2	節分	0円
9	一泊旅行	290,000円	3	レク外出	10,000円

8. 衛生、環境（**水道光熱費支出**）

（1）生活介護

入浴は週3回実施します（基本～月・水・金）。また、希望者及び利用者の状況によって、シャワー浴や清拭を行います。

（2）就労継続支援B型

利用者の状況、希望によって、入浴または、シャワー浴、着替えを適宜行います。

9. 安全指導（**全体の支出**）

・【避難訓練】～年2回実施すると共に、その内1回は消防署立会いの下で避難訓練・職員の消火訓練・通報訓練を実施します。

10. 地域とのかかわり（**全体の支出**）

市内のイベントや特別支援学校の行事等、地域の行事に積極的に参加します。また、ボランティアや慰問等を積極的に受け入れ、障害や施設に対する理解を深めると共に、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。

災害発生時には、市当局や地域住民と協調して不時の災害に対処します。

第3部 施設整備等について

11. 施設整備について

ありません。

第4部 その他の活動について

12. 法人本部繰入金について（拠点区分間繰入金支出）
70万円を支出いたします。
13. 修繕積立金について（施設整備等積立資産支出）
規程通り平成30年度より行います。